

令和5年3月定例会

教育委員会定例会会議録

書記 鈴木 亮 平

書記 蜂 谷 愛

塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日時 令和5年3月29日(水) 午後2時27分～午後4時05分

◆場所 塩竈市民交流センター 視聴覚室

◆出席委員

教育長	吉木 修	教育長職務代理者	高橋 輝兆
委員	松田 攝子	委員	佐藤 香
委員	菅井 信吉		

◆事務局

教育部長	鈴木 康則	教育部理事兼 市民交流センター館長	佐藤 達也
次長兼教育総務課長	小倉 知美	参事兼学校教育課長	松崎 和佳子
生涯学習課長兼 文化スポーツ課長	武田 光由	教育総務課 課長補佐兼教育総務係長	鈴木 亮平
学校教育課指導主事	木村 宜智	生涯学習課専門主査	菊地 謙也
教育総務課主査	蜂谷 愛	教育総務課主事	亀山 侑可

◆定例会次第

1 開会

2 前回会議録の承認

3 会議録署名委員の指名

4 教育長報告

- ① 仙台管内教育長会議
- ② 県費負担教職員の人事異動について
- ③ 本市の教育活動の状況
- ④ その他

5 教育部長報告

- ① 塩竈市議会2月定例会の概要について
- ② 塩竈市議会3月臨時会の概要について

6 専決処分報告

- ① 修繕代金の未払いに係る和解について
- ② 令和4年度塩竈市一般会計補正予算のうち教育に関する事務にかかる部分について

7 その他報告

- ① 令和5年度塩竈市教育方針(案)について
- ② 学校給食(食材料)費の改定について
- ③ 令和4年度全国体力・運動能力等調査について
- ④ 塩竈市学校医療的ケアガイドライン(案)について
- ⑤ 塩竈市学校事務支援室の組織体制の変更について
- ⑥ 第3次塩竈市子供読書活動推進計画(案)について
- ⑦ 市職員の人事異動について

8 閉会

1 開会 午後2時27分

2 前回会議録の承認

松田委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名

高橋委員と佐藤委員を指名

4 教育長報告

吉木教育長から、以下のことについて報告

- ① 仙台管内教育長会議
- ② 県費負担教職員の人事異動について
- ③ 本市の教育活動の状況
- ④ その他

〔主な質疑〕

佐藤委員 3月16日実施の教育部職員学校担当者の年度末発表会について、どのような成果があったのか。

教育長 今年度の4月から若手を中心とし担当学校を決め、月1回程度校長・教頭と意見交換をすることを目的として始めたものであるが、多い職員は20回程度学校を訪問し、学校の現状を知ることができた。この発表会についても教育委員会職員だけでなく、塩竈市各部の部長も参加し、情報共有を行えた。

教育部長 市長発案で、教育委員会職員が学校現場を知るために学校担当者をつけようというところから始まった。今年度は浦戸小中学校には担当をつけられず、若手を中心とした10名で対応した。初めは教育長や学校教育課長が学校を訪問するタイミングで担当に声をかけ一緒に訪問していたが、後半は自ら学校を訪問し学校との連絡役を担っていた。色々な行事にも参加し、最終的には卒業式にも参加してイベントを含めた学校現場を知ることができた。定期的に部内でも報告会を行っていたが、その際、教育長からレクチャーを受け、自分が担当している業務以外についても分かるようになり、横の連携もできてきた。学校も担当者を通じ教育委員会へ要望を伝えやすくなり、お互いにとって良い取組となったため、今後も続けていきたい。

5 教育部長報告

- ① 塩竈市議会 2 月定例会の概要について
- ② 塩竈市議会 3 月臨時会の概要について

6 専決処分報告

- ① 修繕代金の未払いに係る和解について
- ② 令和 4 年度塩竈市一般会計補正予算のうち教育に関する事務にかかる部分について

教育部長報告、専決処分報告を続けて報告を行った。

〔主な質疑〕

松田委員 資料 No. 2 の 2 ページ議案第 24 号①の学校プール外部化事業について、第三中学校に水泳部はないのか。また、この予算は何に使用する費用か。

教育総務課長 水泳部はないことを確認している。中体連に参加する生徒はいるが、スイミングプールで練習しているため、学校のプールが使用できなくても支障ないとの話を聞いている。また、この予算は往復のバス借上げ料である。

高橋委員 何回分を想定した費用か。

教育総務課長 各学年 4 回授業を行うこととし、民間バスと市のマイクロバスを併用する予定で予算を計上したが、市のマイクロバスの調整、学校との授業の関係上、各学年 2 回、年間 6 回の授業を行うこととした。

松田委員 資料 No. 2 の 3 ページ浅野議員の質問③について、保護者向け研修会の開催を検討とあるが、どのようなものを想定しているのか。

教育長 新型コロナウイルスの影響で県内、市内ともに不登校が増えており、保護者も悩んでいることがある。この研修会は不登校の保護者のみを対象としたものではなく、全保護者向けに、ソーシャルスキルを身に付けるなどの研修会を開催し、低学年の段階から家庭でも学校でも特性を理解していけるようにしたい。また、幼稚園・保育所の保護者も対象とすることも検討している。

佐藤委員 資料N o. 2の2ページ議案第24号②特別支援教育支援員について、1名追加とあるが、各小中学校全てに1名追加となるのか。

学校教育課長 現在浦戸小中学校を除く各校に2名ずつ配置している。人員は不足している状況であるが、来年度はせめて1名追加ということで、全体で1名追加する。その1名はLD通級が多い、学級数が多いということで杉の入小学校に配置する予定。

菅井委員 資料N o. 2の2ページ議案第24号④情報教育推進事業について、この費用はどのようなものなのか。

学校教育課長 この費用はA Iドリルのライセンス料である。当初は複数年契約を検討したが、毎年様々なシステムが出るため、一年ごとにシステムの見直し、契約を行う。

高橋委員 資料N o. 3、2ページの概要に、未契約で行った修繕とあるが、本来であれば業者に見積を依頼、入札、契約、工事が始まるという流れであると思うが、今回の件は市の職員が勝手に進めたということか。

教育部長 今回のものは、入札を行わない軽微な修繕である。本来であれば見積をもらい、発注して、修繕後、請求書をもらうというのが通常の流れであるが、そのような書類がまったくない状況で修繕が行われていたものである。

高橋委員 このようなことはあってはいけないことだと思うが、今後の予防策についてお伺いしたい。

教育総務課長 改めて修繕・契約をする際の手続きを確認し、また、今回の件は記録が全く残っていないという状況であったので、学校から修繕を依頼された、どのような対応をした、どこまで対応されているか、そういった記録を残すとともに進行管理の徹底をしていきたいと考えている。

教育長 進行管理の中での変更点として、本当に軽微な修繕も、いつ依頼があったか、いつどの業者に依頼したか、今後どのように対

応するか等を記載した報告書を作成し、必ず教育長まで報告することとした。

松田委員 教育委員会だけの問題ではなく、学校としてもどの業者がいつ何をしたか日誌に記録を行うとともに、学校内でこういう修繕がこういう金額で完了したという報告をするというシステムが必要ではないかと思う。市の職員と業者だけでなく、学校も関わって、新たなシステムを作ってほしい。

教育総務課長 学校にも協力いただき、いつ業者が来たのか、いつ完了したのか、学校でも記録を取ってもらう、教育委員会へも情報教育をしてもらうようなシステムづくりを進めていく。

教育長 組織的な問題もあり、前年度以前は総務係と保健食育係しかなく、総務係が全て施設を担当していたが、令和4年度からは施設係が新設された。さらに今度の4月からは専門職を1名増やした体制となる。今後組織としての対応、個人のコンプライアンスを高める、学校を含めた事務手続きの確認をしていく。

7 その他報告

吉木教育長から、以下のことについて報告

- ① 令和5年度塩竈市教育方針（案）について

小倉教育総務課長から、以下のことについて報告

- ② 学校給食（食材料）費の改定について

松崎学校教育課長、木村指導主事から、以下のことについて報告

- ③ 令和4年度全国体力・運動能力等調査について
- ④ 塩竈市学校医療的ケアガイドライン（案）について
- ⑤ 塩竈市学校事務支援室の組織体制の変更について

武田生涯学習課長から、以下のことについて報告

- ⑥ 第3次塩竈市子供読書活動推進計画（案）について

鈴木教育部長から、以下のことについて報告

- ⑦ 市職員の人事異動について

〔主な質疑〕

松田委員 資料1 ページ7) 小学校の教科担任制の推進について、加配だけでなく交換授業もあると思う。そこも含まれてはいると思うがいかがか。

教育長 教科担任加配の先生だけが授業を行うのではなく、教務主任や教頭が授業を行うことや交換授業も積極的に進めていくことを小学校の校長には伝えている。

高橋委員 資料6 ページ運動能力等調査について、県平均に仙台市は含まれているのか。また、含まれていなかった場合、仙台市を含めると塩竈市は県平均を下回るようになるのか。

松崎課長 県平均に仙台市も含まれている。

松田委員 資料9 ページ体育科授業力向上プロジェクトの実践内容(1)について、わくわく遊び隊と関連付けた年間カリキュラムへの改善を図るとあるが、どのような形で関連付けるのか。

松崎課長 現在は体育科とわくわく遊び隊の繋がりはないが、素晴らしい取組のため、何か連携できないかと思い、たたき台として記載した。今後わくわく遊び隊の担当者と話し合い、子どもだけでなく家族や地域も巻き込んで進めていきたい。

教育長 学校によりサッカー協会が関わっている等わくわく遊び隊が行っている活動は違う。その活動を上手く教科体育に繋げていきたいという考えである。

菅井委員 資料9 ページに、塩竈体操の作成とあるが、運動に親しむための面白おかしい体操なのか、先生が作るのか、子どもを巻き込んで作るのか、内容をお聞きしたい。

松崎課長 塩竈らしい、塩竈市の子ども達が親しんで運動できるようなものをイメージしている。作成については、子どもたちが考え、やりやすい、親しみやすいものになるよう教員がサポートして作りたいと思っているが、現段階は何も決まっていない。幼稚園とも連携したいと考えているので、無理なく楽しくでき、加えて体力も付くようなものを作成したい。

高橋委員 医療的ケアガイドラインについて、私が学校医をしている利府支援学校の塩釜校の場合、通常年1回、学校に行き、校長先生、担当、PTA、歯科校医と会議を開いているが、それとは別に医療的ケア検討委員会を年2回、校長、担当、看護師と開催している。同じような体制となった場合、第二小学校の管理校医が事前に状況を把握していないと中々前に進まないと思うので、子どもの様子やこのガイドライン、会議の回数など、リスクも含め事前に管理校医と打ち合わせが必要だと思う。

木村指導主事 管理校医との連携は重要になってくると思うので、学校、教育委員会を通して連携していく。

松田委員 保護者が自分の子どもが学校でどのような教育を受けているのか、どのように看護師が関わっているのか状況を見ていただく場面を設けるなどして、理解していただく、要望があればそれを聞くようにし、一緒に育てていくということも大切なのではないか。

木村指導主事 看護師はすでに自宅を訪問したり幼稚園を訪問したりしており、医療的行為のやり方を保護者に教わっている。また、幼保小連携が円滑に進められているので、第二小学校の担任も幼稚園を訪問し医療的行為の手順について確認しているところである。

松田委員 第3次塩竈市子供読書活動推進計画の7ページに記載している目標値について、小学校は高めの目標値だが、中学校は現状とあまり変わりのない目標値となっている。どのように設定したのか。

武田課長 小学校は県平均と比べかなり悪いため、県平均に近づくようこの目標値を設定した。中学校はすでに県平均を上回っているので、現状よりも上回るような目標値とした。

佐藤理事 移動図書館のデータを見ると利用頻度は高いので、現状とリンクするような集計方法になればいいと思う。

松田委員 目標値を設定するうえで配慮しなければいけないところは、これから出てくる電子図書について考えたり、図書の分類による

読書率を考えたりと、何を求めた目標値設定なのかを考えることが大切だと思う。また、司書の配置や国語の教科書で使った本を紹介するなど本に興味を持ってもらうような取組が必要だと思う。

8 閉会 午後4時05分

《会議録署名委員》

2番委員
(高橋委員)

3番委員
(佐藤委員)